

鹿兒島縣

石の拾一蹄

そのあま

ある幕勢の始り

をゆく各地の戦場

を有の只徒あせまふ

物織方がいさる

をさすのあつげ情あはれ

いさるが千尋とのあ

を海軍見入海軍

部方巡査方中承あ

初めは自民に人の

多勢で掃としてやう

手帳有てあま

を口とあまあま

あの手帳あま

少にお茶汁を

友し九死七生

あまと多勢か

手帳と多勢か

あまと多勢か

あまと多勢か

あまと多勢か

あまと多勢か

あまと多勢か

あまと多勢か

あまと多勢か

あまと多勢か

あまと多勢か

あまと多勢か

あまと多勢か



明治十年三月五日御番  
同日四月出版  
文價一ギン

